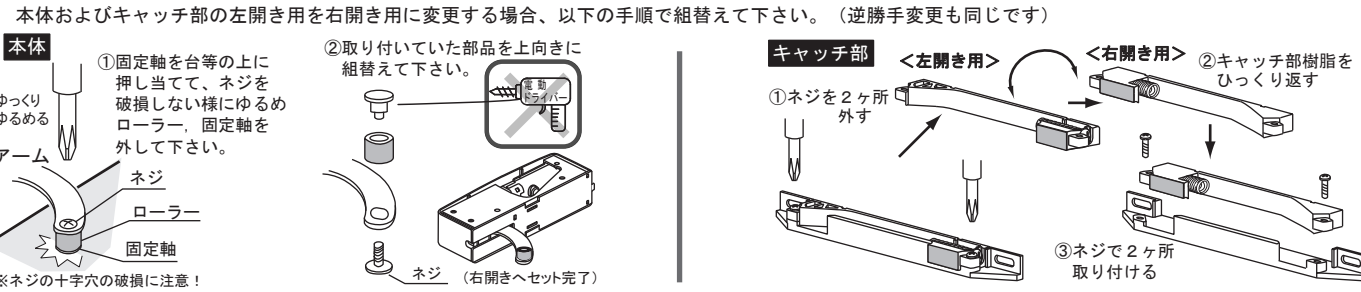
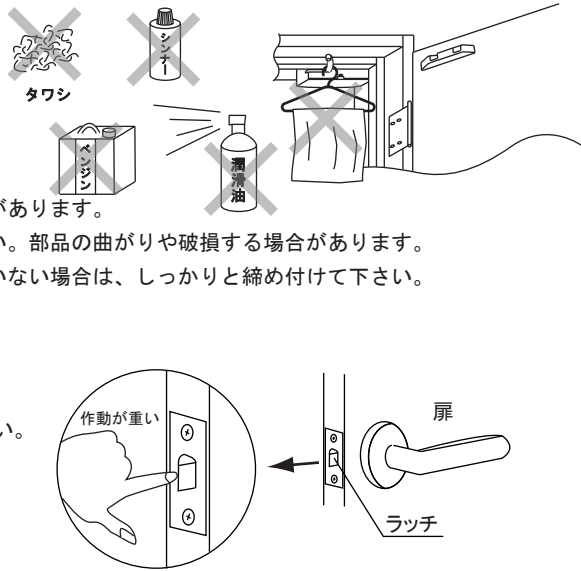


本体とキャッチ部の左右勝手切り替え方法



⚠ 施工・使用上の注意

- お手入れの方法
本体カバー、キャッチカバー表面が汚れたときは、柔らかい布で軽く拭いて下さい。シンナーやベンジン等で拭いたり、殺虫剤をかけたりしますと変色や光沢が損なわれたり、カバーの割れの原因になる為、絶対に使用しないで下さい。
- 建付けや枠の歪み、丁番の不具合によって扉が勝手に開いてしまう等、作動性能に問題のある場合扉が閉まり切らないおそれがあります。
- 本製品の使用可能温度範囲は0℃～40℃迄です。
- 扉質量は12kg～30kg迄です。
(扉が12kg以下の場合は扉を閉めた際、反発して閉まり切らない場合があります。)
(扉が30kg以上になりますと扉を完全に閉め切らない場合があります。)
- 扉を故意に強く閉め過ぎると部品が破損する場合があります。
- 本製品を使用しない場合は、アームをOFF状態にしてご使用下さい。
- 部品に潤滑油やグリスを注がないで下さい。部品の割れや変形・変色を生じるおそれがあります。
- エコキャッチ本体アームおよびキャッチ部品に衣服や洗濯物などを掛けしないで下さい。部品の曲がりや破損する場合があります。
- 本製品の使用前に丁番の固定ネジがしっかり締まっているかご確認下さい。締まっていない場合は、しっかりと締め付けて下さい。
- 扉を強く閉めた時はプレーキが効かず戸当りにあたる事があります。
- 学校等へは使用しないで下さい。
- 安全のため、必ず手袋を着用して取付けて下さい。
- 以下の使用下では、引き込み機能が正常に作動しない場合があります。
 - ・丁番により扉に負荷がかかりすぎている。
 - ・モヘヤ付戸当りやエアタイトを使用している。
 - ・換気扇を使用している。
 - ・風が入り込む部屋や気密性の高い部屋。
 - ・扉が枠や床・ジュウタン等にすれている。
- 建付けが悪く扉が閉まりにくい。
- 扉のラッチの作動が重い。



危険防止のために

- ⚠ ドアと枠の間に手などを不要意に入れないで下さい。閉じてくるドアにはさまれてケガをするおそれがあります。
- ⚠ 本体装置のアーム操作でON状態、OFF状態にする際には本体とアームの間に指をはさまないように十分注意して操作して下さい。

作動確認と対策

◎施工完了後、ゆっくりと扉を閉めて正常に作動するか(扉が引き込まれるか)ご確認下さい。

現象	原因	対策
扉を全く引き込まない	本体が「OFF状態」である	本体「アーム」を引き出し「ON状態」にする
扉が引き込み切らず途中で止まる	使用しているバネの引き込む力を妨げる要因がある	扉が問題なく閉まるように建付け調節する キャッチ部品の引き込み調整を行う
扉が閉まらず跳ね返る	本体「ローラー」とキャッチ部品が当たっている	キャッチ部品の左右調整を行う

株式会社 **ダイケン** 本社 〒532-0033 大阪市淀川区新高2丁目7番13号
 TEL (06) 6392-5321 FAX (06) 6397-8600
 ホームページ <http://www.daiken.ne.jp>

- | | | | |
|-----------------------|------------------------|-----------------------|--------------------------|
| 札幌支店 ☎(011) 232-3017 | 盛岡営業所 ☎(019) 648-2220 | 静岡営業所 ☎(054) 237-5375 | 東京西出張所 ☎(042) 567-1338 |
| 東京支店 ☎(03) 3633-6551 | 仙台営業所 ☎(022) 235-4380 | 岡山営業所 ☎(086) 297-9100 | ホームセンター課 ☎(03) 3633-6552 |
| 名古屋支店 ☎(0586) 77-7561 | 埼玉営業所 ☎(048) 667-9381 | 広島営業所 ☎(082) 294-9181 | |
| 大阪支店 ☎(06) 6392-5556 | 神奈川営業所 ☎(045) 316-3901 | 福岡営業所 ☎(092) 482-8112 | |

開戸引き込み装置

「エコキャッチ」 取付・取扱説明書

品番：ECR-30RS
 ECR-30RG
 ECR-30LS
 ECR-30LG

施工業者様へ
 施工前に必ずこの取付・取扱説明書をよくお読み下さい。
 取付後、この取付・取扱説明書をユーザー様にお渡し下さい。

ユーザー様へ
 ご使用前に、必ずこの取付・取扱説明書をよくお読み下さい。
 この取付・取扱説明書は大切に保管して下さい。

本製品は室内用木製扉専用の金具です。鉄扉等への取り付けはできません。

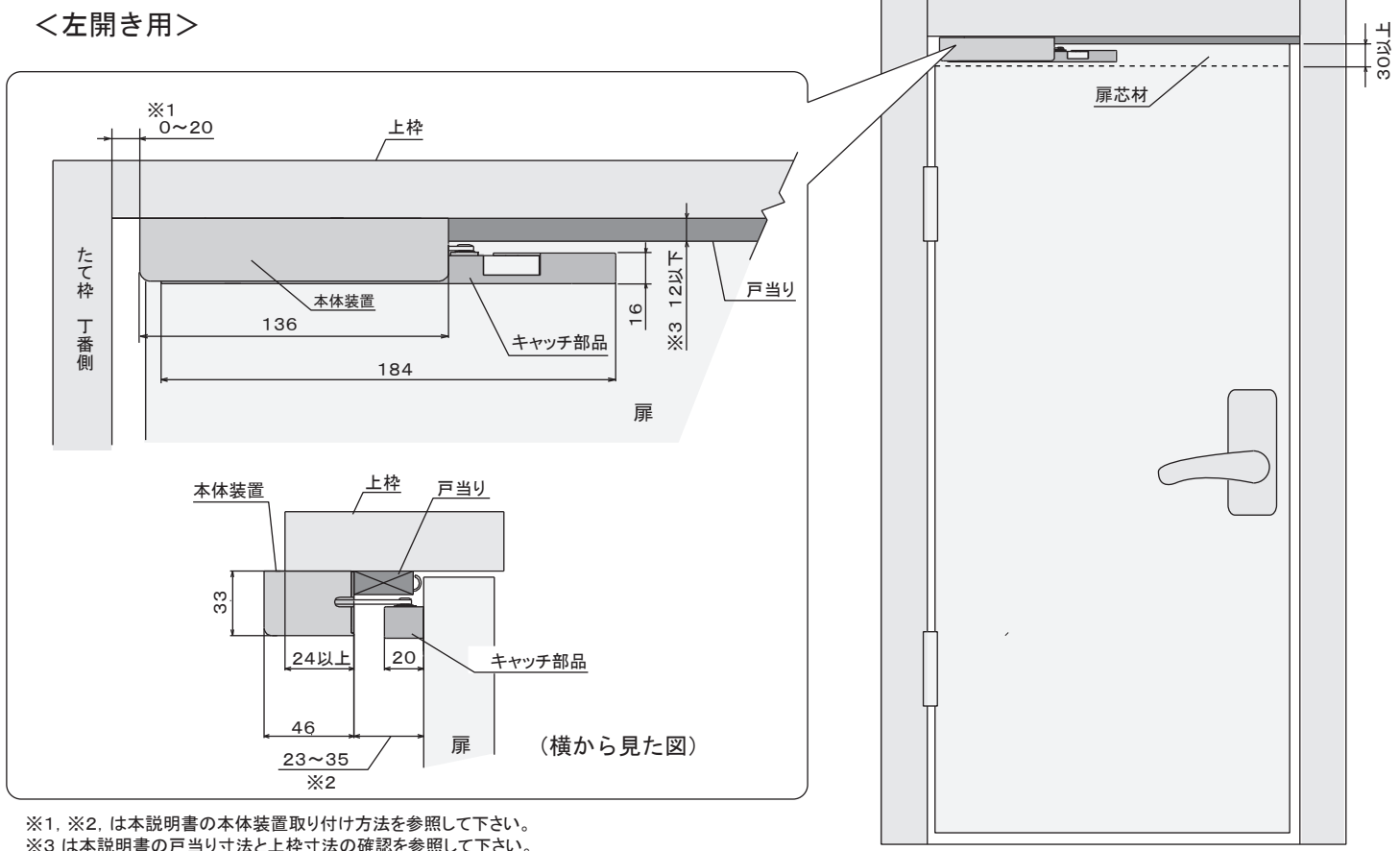
部品明細

■商品に梱包されている部品は以下の通りです。梱包の内容をご確認下さい。

名称	材質	数
① 本体	スチール, 樹脂	1
② 本体カバー	樹脂	1
③ キャッチ部	ダイカスト, 樹脂	1
④ キャッチカバー	樹脂	1
⑤ 呼び径3.8×57 皿タッピンネジ	スチール (三価クロメート)	2
⑥ 呼び径4×20 トラスタッピンネジ	スチール (三価クロメート)	2

＜本体装置＞ ※図は左開き用		⑤ 本体用...2本 ⑥ キャッチ部品用...2本
＜キャッチ部品＞ ※図は左開き用		取付・取扱説明書...本紙1枚 キャッチ部品ケガキ用型紙...別紙1枚

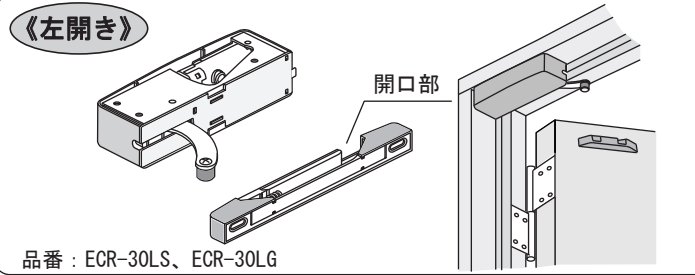
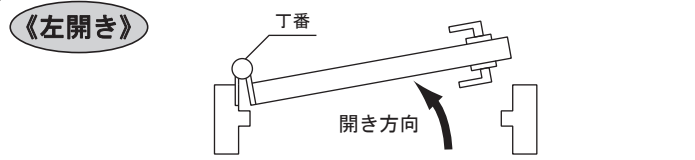
納まり図



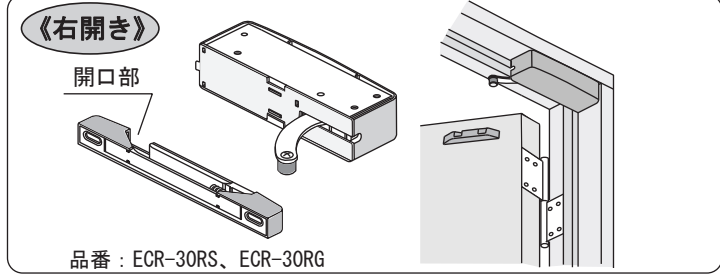
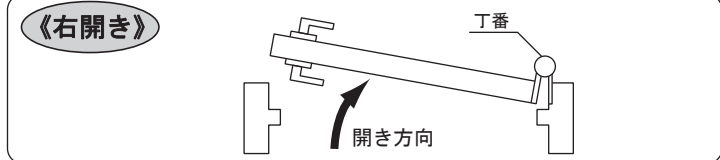
取り付け前の確認事項

扉開き方向の確認

■左開き用・扉を押して開ける時、左側に丁番があります。

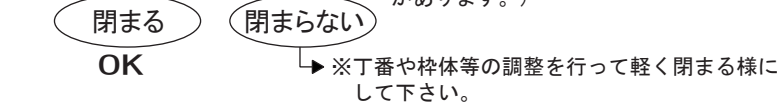


■右開き用・扉を押して開ける時、右側に丁番があります。

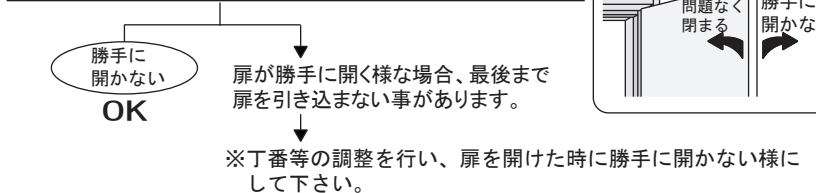


扉開閉の確認

■扉が問題なく軽く閉まりますか？ (扉と枠体の接触等により、軽く閉まらない等の問題があると最後まで扉を引き込まない事があります。)

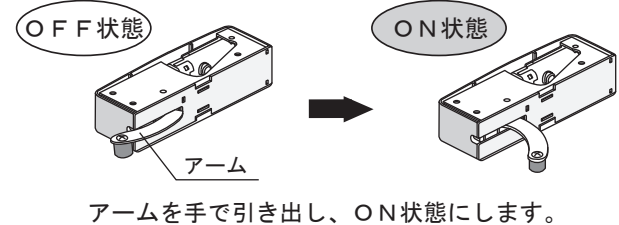


■扉を少し開けた時、勝手に開いていく事はありませんか？



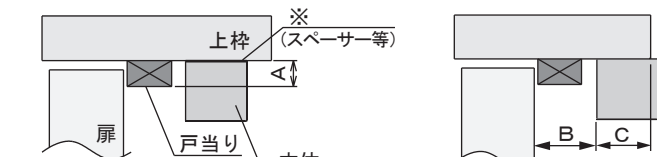
本体装置の引き込み機能状態の確認

注意 ⚠️ アームを移動する際、本体装置とスキマでの指詰めにご注意下さい。



戸当り寸法と上枠寸法の確認

戸当りおよび上枠の寸法が表-1の寸法の場合、取り付けはできません。



◎扉の厚さ25mm以上必要

表-1

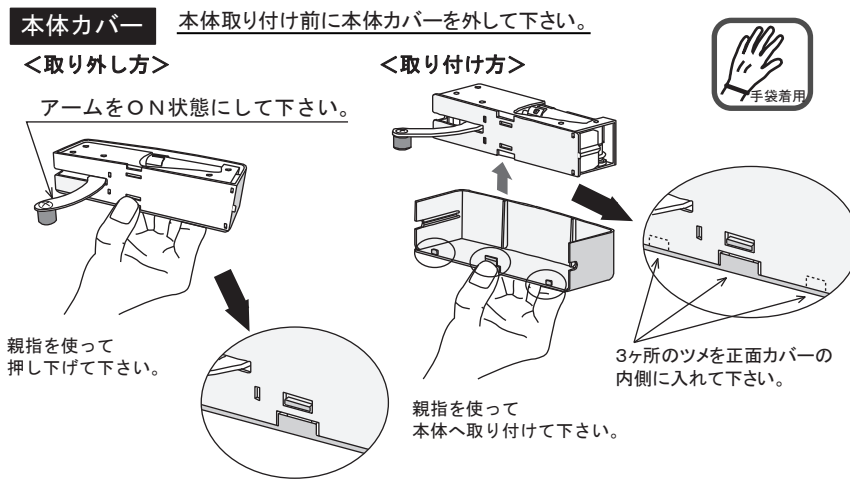
A: 12mmより高い ※	×
B: 23mm未満	×
C: 24mm以下	×

※戸当り高さが12mmより高い場合は、12mmを超えた寸法分のスペーサー等を本体と上枠の間にに入れて下さい。(スペーサーはお客様での用意(加工)となります)

本体装置取り付け前に

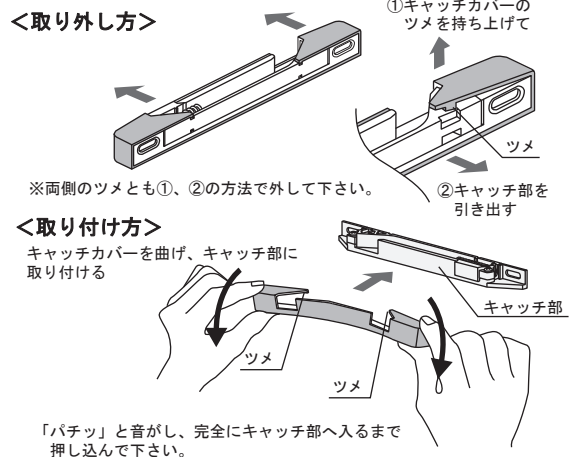
本体カバー

注意 ⚠️ アームを移動する際、本体装置とスキマでの指詰めにご注意下さい。



キャッチカバー

キャッチ部取り付け前にキャッチカバーを外して下さい。



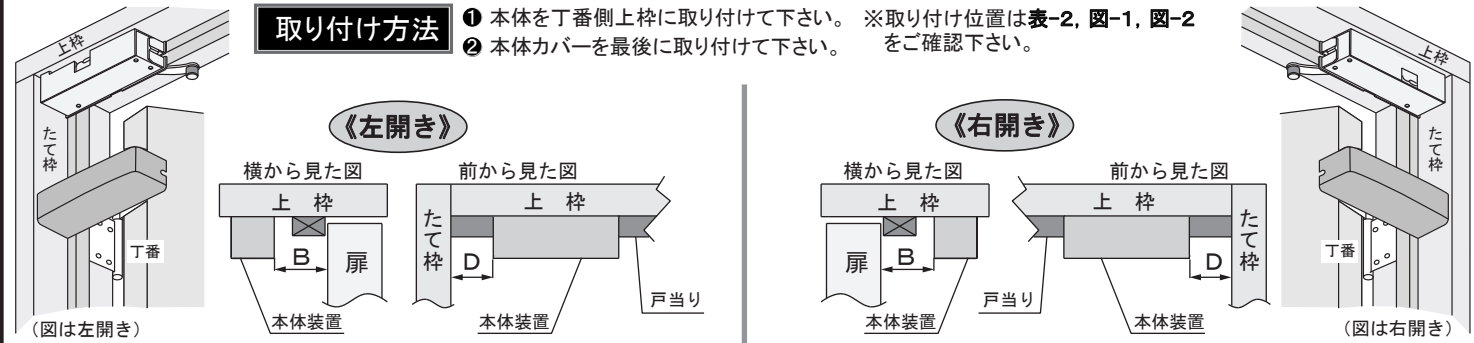
注意 ⚠️ インパクトドライバーは絶対に使用しないで下さい。安全のため、必ず手袋を着用して取付けて下さい。

本体装置取り付け方法



取り付け方法

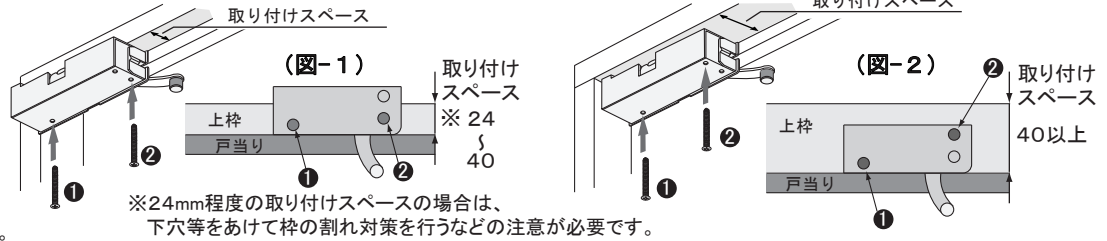
① 本体を丁番側上枠に取り付けて下さい。 ※取り付け位置は表-2、図-1、図-2をご確認下さい。
② 本体カバーを最後に取り付けて下さい。



B寸法によるD寸法の決定

B 寸法	D 寸法
23mm ~29mm未満の場合	約20mm
29mm ~35mm未満の場合	約10mm
35mmの場合	0mm

本体取り付けスペースによる取り付けネジの位置の決定



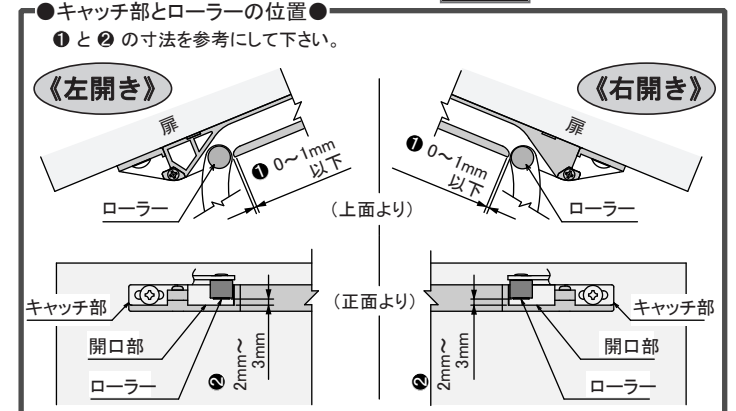
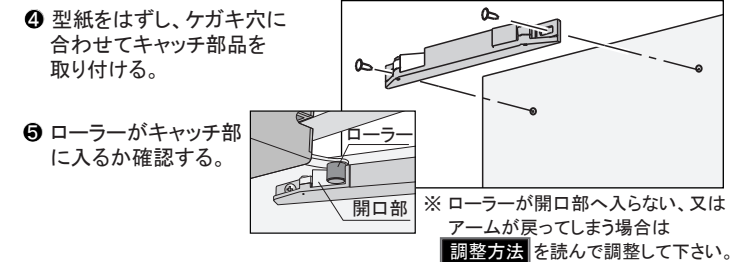
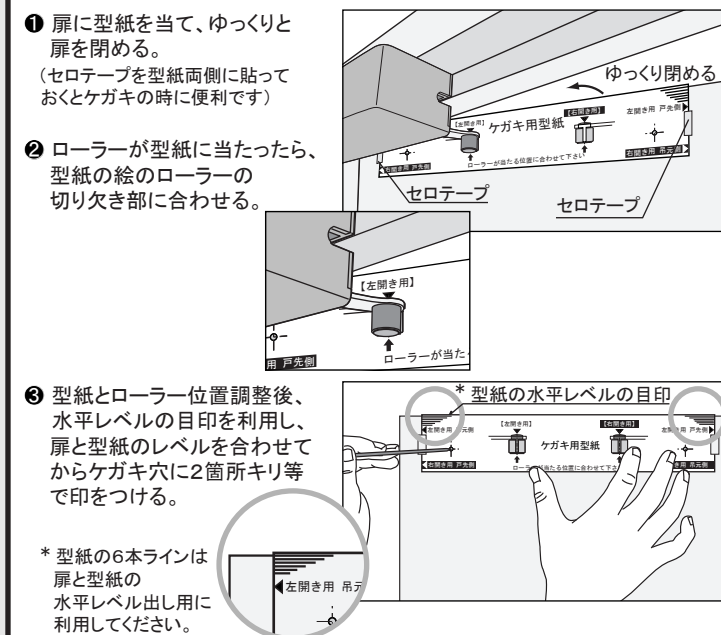
キャッチ部品取り付け方法と調整方法



取り付け方法

◎ケガキ用型紙をご使用の上、正しく取り付けて下さい。

上枠に本体装置を取り付け、アームをON状態にしておく。



調整方法

